



国立環境研究所・地球環境研究センター 波照間モニタリングステーション 温室効果ガスデータ

1. 識別情報

名称	国立環境研究所・地球環境研究センター 波照間モニタリングステーション 温室効果ガスデータ
略称	Hateruma GHG Dataset
メタデータID	Hateruma_GHG20230727065302-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	向井 人史
組織名	独立行政法人国立環境研究所・地球環境研究センター
住所	日本, 305-8506, 茨城県, つくば市, 小野川16-2
電話番号	+81-29-850-2536
ファクシミリ番号	+81-29-858-2645
電子メールアドレス	lnmukaih@nies.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@dias.jp.net

3. ドキュメント作成者

名前	向井 人史
組織名	独立行政法人国立環境研究所・地球環境研究センター
電子メールアドレス	lnmukaih@nies.go.jp

4. データ作成者

名前	向井 人史
組織名	独立行政法人国立環境研究所・地球環境研究センター

電子メールアドレス	lnmukaih@nies.go.jp
-----------	---------------------

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

creation : 2010-01-25

7. データセット概要

7.1 序論

国立環境研究所地球環境研究センターでは、大気・海洋・生物圏を含む地球環境モニタリングの一環として、温室効果ガスに関する総合的なモニタリングを行っています。沖縄県の八重山諸島波照間島に位置する「地球環境モニタリングステーション-波照間」では、1993年秋期から観測を開始し、温室効果ガスを含む大気微量成分の高精度・自動観測を継続しています。

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

environment

7.3 時間情報

開始日	1993-10-17
終了日	継続中
時間分解能	Hourly, Daily, Monthly

7.4 地理的範囲

北限緯度	24.060556
西限経度	123.809167
東限経度	123.809167
南限緯度	24.060556

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

Isehara 4794, Aza Hateruma, Taketomi, Yaeyama, Okinawa

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
place	In Situ Land-based Platforms > GROUND STATIONS	GCMD_platform

theme	Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Carbon and Hydrocarbon Compounds > Carbon Dioxide, Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Carbon and Hydrocarbon Compounds > Methane, Atmosphere > Air Quality > Nitrogen Oxides, Atmosphere > Air Quality > Carbon Monoxide, Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Hydrogen Compounds > Molecular Hydrogen, Atmosphere > Air Quality > Nitrogen Oxides, Atmosphere > Air Quality > Sulfur Oxides, Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Oxygen Compounds > Ozone, Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Halocarbons and Halogens > Chlorofluorocarbons, Atmosphere > Aerosols > Dust/Ash/Smoke, Atmosphere > Atmospheric Winds > Surface Winds, Atmosphere > Atmospheric Temperature > Air Temperature, Atmosphere > Atmospheric Water Vapor > Humidity, Atmosphere > Atmospheric Radiation > Incoming Solar Radiation, Atmosphere > Atmospheric Radiation > Ultraviolet Radiation, Atmosphere > Precipitation > Precipitation Amount, Atmosphere > Atmospheric Pressure > Atmospheric Pressure Measurements	GCMD_science
theme	Oxygen/Nitrogen Ratio, Radon, Sulfur Hexafluoride	No_Dictionary
place	Asia > Eastern Asia > Japan	Country

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

波照間ステーションの概要 : <http://db.cger.nies.go.jp/gem/ja/ground/index.html>

国立環境研究所地球環境研究センター・地球環境データベース : <http://db.cger.nies.go.jp/portal/geds/atmosphericAndOceanicMonitoring>

当該データセットのDIASデータダウンロードサイトです。 : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:193>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

このデータセットは国立環境研究所・地球環境研究センターが地球環境モニタリング事業の一環として収集したものです。データ入手方法については必ず国立環境研究所地球環境研究センターにお問い合わせ下さい。データ利用者は、利用に際し、データ保有者と調整が必要です。目的に応じてデータ保有者を共著者にすることを求められます。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上发表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献